

令和 6年 1月31日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 2月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... 思いやりの心を育む .....

副校長 栗田 朋子

今年は例年に比べ暖冬のように、日中は太陽光の暖かい日差しにほっとする日が多くあります。身を切るような、北風の冷たさを体感する日は少ないようです。子どもたちは、元気に外遊びで汗を流している姿も見受けま

す。さて、学校では進学や進級を目の前にした時期となりました。この時期に、子どもたちは大きく成長を見せます。特に5年生は、自分たちが次のリーダーとなって期待に応えようと、活動する場面が多くなります。1月からなかよし班活動（たて割り班活動）では、中心となって準備・活動を始めています。

これまでなかよし班活動では、6年生がグループの下級生をまとめ、みんなで掃除をしたり、遊んだりしてきました。そういう6年生が今まで担ってきた役割を、副リーダーの5年生が行っていきます。遊びの進行をしたり今後の計画を立てたりしていきます。見ているのとやってみるのとでは、違うと感ずることがたくさんあることでしょう。なにしろ、なかよし班は発達段階の異なる、1～6年生までの児童全てを含んで成り立っています。そして、各班で様々な活動をします。予想と異なる場面に遭遇することは、度々訪れるものです。しかし、そういう時に状況に応じて、適切な対応を迫られる経験が、改めて6年生の偉大さを実感することにつながるのだと思います。また、それによって感謝や尊敬の念も生まれます。

なかよし班活動で一生懸命役割を果たそうと活動する5年生の姿を目にした6年生は、昨年の自分たちの姿を思い出し、自身の成長を認識することにつながるでしょう。そして、5年生のエネルギーやたくましさに、安心してリーダーを託していけると確信していくことと思います。

本校のなかよし班活動では、上級生の思いやりある行動や優しい声掛けを通して、下級生が他者との接し方を学ぶ良い機会となっています。また、学年間の横のつながりだけでなく、異学年のつながりを深め、協力することの大切さを理解し、お互いに思いやる心を育てています。

思いやりを育む上で最も大事な要素は、相手の気持ちを想像したり共感したりすることです。友達の様子を見て、例えば何か困っているのかなと想像して、声を掛けたりなぐさめたりする。こういったやり取りこそ思いやりの心を育むきっかけとなります。

本校では、今後もこのなかよし班活動を継続し、協力や思いやりの心を育ててまいります。ご家庭でもその様子について、是非一度話題にさせていただけたらと思います。

## 【お知らせ】特別合唱クラブの次年度以降の運営について

本校特別合唱クラブへは、教育課程外の活動であるにも関わらず、地域や保護者の皆様から永きにわたりご支援いただいております。厚く御礼申し上げます。

次年度以降の運営について、校内指導者が不在であること、また今般の社会情勢における働き方改革のための時間外労働時間の縮減等様々な課題があるため、今年度いっぱいをもって学校が運営する特別クラブとしての活動を終了させていただくこととなりました。現在来年度からの合唱部については、保護者運営に向けて現合唱部保護者の方で準備を進めているところです。急なご報告ではありますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。なお、今後も「歌のつどい」をはじめとした校内の音楽的活動がさらに充実するよう計画して参ります。

地域の皆様へ 2月17日に行われる予定の希望が丘東地区主催「みんなの発表会」で演奏させていただきます。皆様のご来場をお待ちしております。